

集中講義「島のしくみ」レポート

工学部機械工学科 樋口太介 学籍番号：2511210756

島のしくみをテーマとし、3泊ほど与論島で過ごさせていただきました。やはり流石は島ということで海は透き通ってきれいだし、都会とは比べ物にならないくらい自然が豊かなところでありました。しかし、自分は都会から来た身であり、コンビニが24時間でないところなど少々不便を感じる点もいくつかありました。

さて与論島を活性化させるにはどうすればよいかと言う事ですが、コンビニの24時間営業、また深夜までの居酒屋の営業など観光客を考慮した店があってもいいと思います。自分も結構与論生活の中で夜中お腹がすき、コンビニに行ったのですが閉まっています。少々残念に思えました。やはり夜中にお腹がすいて何も食べるものがないというのは観光客にとって厳しいと思うのでコンビニの24時間営業はあるべきだと自分は思います。

次に活性化させるために考えられる事は県外から与論島までの移動手段です。鹿児島から与論島まででしたら船で20時間、または直通で飛行機が飛んでいるのでまだなんとかなると思うのですが、福岡や大阪、東京の飛行機の航路を見ると沖縄行きがあっても与論直通がありません。そこから行くとしたら沖縄を経由してまた飛行機あるいは船で行くこととなります。そうなるともし与論まで来たとして福岡などに帰るとなるとまた沖縄に戻らなくてはなりません。その分お金がかかってしまい、沖縄だけの観光で終わってしまうことも多いだろうと考えられます。もし直通にできれば航空距離も短くなり、安くで与論島まで行けるでしょうし、観光客も増えるだろうと思います。

最後に活性化させるための手段としてやはり与論島はどんな島であるのかを知らしめる必要があると考えます。その点において与論島では留学生の受け入れを促進しているみたいですが、これはとても効果があると思います。自分も最初は与論島と言われてもあまりピンと来ず、実際に行ってみて肌で実感して与論のすばらしさに気づくことができました。実際に行ってみるのも大事ですが、やはりその引き金となるのは与論島へ行った人の体験談だと思います。そこで例えば留学生が与論島で生活しながら学校生活を送り、自分の県に戻って与論島がどういうところがその人によって広まる。それで聞いただけでは分からないので旅行などで実際に行ってみようなどとなるわけです。

そうなるためには留学生、または観光客に与論島のすばらしさを印象付けることが第一です。自分が思うに与論島のすばらしさは島特有の豊かな自然があり、ほかにも昔ながらの牧歌的な風景とか、素朴な島民気質などそこに魅力があるのではないかと思います。観光客は自分の住んでいる都会など自分のところにはない物を求めてやってくるものだと考えています。やはり観光というのは見たことがないものを見に行くものであって、自分の身近にあるものを見ようとは思いません。もし、与論島に都会に

あるようなリゾート施設などを作ると逆に観光客が減っていくと考えます。また島民からしても自然や与論島独特の生活に誇りを持っていると思うのでこのような開発は反対だと思います。

与論島でいろいろな施設を見学して一番印象に残ったものとして、航空、宇宙関連メーカーであるマルコとい施設です。初めて行った時にあのような綺麗な会社があるとは思っていませんでした。島民でも成人になると本土へ出稼ぎに行く人も少ないと思います。これも過疎化の原因ではないでしょうか。そこでこのような会社を設けることにより、島内でも職につけるようになったと思います。そのような点も含めてとても印象深い施設だと感じました。

結論からして、与論の自然を壊さず、島特有の素朴さや風景を保ち続けることは必要不可欠です。都会化したら与論のすばらしさが薄れます。

以上が与論島を活性化させるにはどうすればよいかに対する自分の案です。